

自治体名	山ノ内町		自治体コード: 205613		
事業名	山ノ内町結婚新生活支援事業		対象経費支出 予定額 ※(注)1	900,000 円	
実施期間	交付決定日 ~ 令和4年3月31日				
<p>地域の実情と課題(これまでの自治体における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮かび上がった地域の実情と課題について記述) ※(注)2</p>	<p>本町の人口は、令和2年4月1日現在12,148人で昭和30年をピークに減少を続けています。年齢3区分別にみると、65歳以上(老年人口)が4,929人(40.6%)、15~64歳(生産年齢人口)が6,200人(51.0%)、15歳未満(年少人口)が1,019人(8.4%)となり、生産年齢人口と年少人口の割合は減少し、高齢人口の割合は増加する傾向にあります。人口減少・少子高齢化は日本全体の問題ですが、本町の年齢構成は全国的にみても高齢者の割合が高く、現役世代の人口が減少しており、将来的には地域コミュニティや経済活動等を支える人材不足等が懸念されます。</p> <p>また、世帯数は、令和2年4月1日現在5,032世帯で人口減少傾向の中にあつて一定数で推移しており、世帯主以外の若年層の転出や、ひとり世帯の期間雇用外国人の転入等が要因として考えられます。</p> <p>出生数は、微減傾向が続く、令和元年は40人まで減少しています。死亡数は、増加傾向が続いた後、近年では横ばいの状態が続いています。出生数と死亡数の差である自然増減は、死亡数が出生数を上回る自然減の状況が続いており、平成20年以降は自然減が100人を超える状況が続いています。</p> <p>婚姻の状況では、平成27年の35~39歳の未婚率は男性で約42%で平成12年の1.36倍、女性で約26%で2.6倍に上昇しています(国勢調査より)。</p> <p>町では、これまで「山ノ内町総合計画」「山ノ内町人口ビジョン」「山ノ内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」により人口減少や少子化対策に対する各種施策に取り組んできました。</p> <p>結婚支援への取り組みとしては、「結婚活動応援事業」として、町社会福祉協議会に委託し、結婚相談所の運営、共通体験型の出会いイベントや各種セミナーの開催、マッチングシステムの活用などを行ってきましたが、出会いイベントでは毎年数組のカップルが生まれますが、成婚に至らない状況が続いています。</p> <p>今後は人口減少・少子高齢化が加速していくと推測されており、子育てや教育にかかる経済的負担が大きいこと、晩婚化や未婚化の影響もあり少子化に更に拍車をかけており、結婚を望む男女に対しては、出会いの場の提供や婚活力向上のための関係機関が一体となった取り組みを強化していく必要があります。</p> <p>また、明日を担う子どもたちが心豊かで健やかに育つことが、地域の将来を発展させるための大きな原動力となることから、すべての家庭が安心して妊娠、出産、子育てができるよう、それぞれの家庭が抱える不安感や負担感の軽減を図り、地域社会全体で切れ目なく支えていくことが求められています。</p> <p>まちづくりアンケート調査でも将来像実現のための取り組みとして、「若者定住促進対策」に要望が寄せられており、町外からの移住・町内の若者の定住の促進や少子化対策は喫緊の課題と捉え、引き続き取り組みを強化していく必要があります。</p>				
<p>自治体における少子化対策の全体像及びその中の本事業の位置付け ※(注)3</p>	<p>令和3年度からの「第6次山ノ内町総合計画」及び「第2期山ノ内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「未来に羽ばたく 夢と希望のある 健康な郷土(まち)」を町の将来像とし、その実現に向けて結婚支援については「保健・医療・福祉」分野の取り組みとして掲げており、本事業は下記のとおり位置づけられています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第6次山ノ内町総合計画(前期基本計画)             <ul style="list-style-type: none"> <li>第2章 いきいきと暮らす、元気が満ちる健康な郷土(まち)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>第1節 希望の出会いと安心して子育てできる郷土(まち)づくり                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 出会い~子育て (1) 婚活支援活動の推進</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>第6章 イノベーション戦略プラン2.0(重点施策)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>第3節 出会いから子育てまでのサポートで、希望がかなう郷土(まち)をつくる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 出会いのサポート (1) 男女への婚活支援</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> <li>第2期山ノ内町まち・ひと・しごと創生総合戦略             <ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標3 出会いから子育てまでのサポートで、希望がかなう郷土(まち)をつくる                     <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 出会いのサポート (1) 男女への婚活支援</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>				
<p>少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4</p>	<p>「第6次山ノ内町総合計画」「第2期山ノ内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」「第2期山ノ内町人口ビジョン」で掲げる数値目標のうち、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活支援からの成婚数 0組(R元) ⇒ 各年度1組以上(R7)</li> <li>・子育てアプリ「はぐナビ☆やまのうち」登録者数(累計) 60件(R元) ⇒ 120件(R7)</li> <li>・町に住み続けたいと思う人の割合(まちづくりアンケート) 64.8%(R元) ⇒ 70.0%(R7)</li> <li>・合計特殊出生率 1.44(H25~H29) ⇒ 1.62(H30~R4)</li> </ul>				
<p>参考指標 ※(注)5</p>	直近の実績		備考(統計時点等)		
	合計特殊出生率	1.44	H25~H29		
	婚姻件数	47	R元		
	婚姻率	3.82	R元		
	1 重点支援事業		対象経費 支出予定額	0 円	
	個別事業名			対象経費 支出予定額	円
	個別事業名			対象経費 支出予定額	円
	個別事業名			対象経費 支出予定額	円
	個別事業名			対象経費 支出予定額	円

事業内容	2 優良事例の横展開支援事業		対象経費 支出予定額	0 円
	(1) 結婚に対する取組		対象経費 支出予定額	0 円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	(2) 結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい 社会づくり・機運の醸成の取組		対象経費 支出予定額	0 円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	3 結婚新生活支援事業		対象経費 支出予定額	900,000 円
	個別事業名	山ノ内町結婚新生活支援事業		
	上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無※(注)6		無	

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。

2「地域の実情と課題」には、これまでの自治体における少子化対策の取組全体及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情と課題について記載すること。

3「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け」には、地域の実情及び課題を踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付けを記載すること。特に、本事業により、地域の課題がどのように解決されるかについて記載すること。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、地域の実情及び課題を踏まえ設定した、自治体の少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和3年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率等を記載するとともに、必要に応じて、その推移を報告すること。

6「上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無」は、地域少子化対策重点推進交付金との重複を排除するためのチェック欄です。(「無」が前提となります)

7 適宜参考となる資料を添付すること。